

Q&Aと症例でわかる！

摂食・嚥下障害ケア

Management and Nursing
of Patients with
Dysphagia



ひつじ看護
BOOKS

CONTENTS

序	藤島一郎
---	------

第1章 エキスパートに聞く！ なるほどQ&A

1. アセスメント・評価・診断

Q1	摂食・嚥下障害を見逃さないためには、 どのようなことに注意すればよいでしょうか	白坂誉子	10
Q2	摂食・嚥下障害が疑われる患者さんにまず何をすればいいでしょうか	鈴木友子	14
Q3	質問紙やスクリーニングテストとはどのようなものですか	鎌倉やよい	18
Q4	精度の高いスクリーニングテストはありますか	鎌倉やよい	22
Q5	嚥下造影検査は、どのように行いますか	武原 格	26
Q6	嚥下造影の見方を教えてください	武原 格	30
Q7	嚥下内視鏡検査はどのように行いますか	西村 立	34
Q8	嚥下内視鏡のみかたを教えてください	佐藤友里	38
Q9	患者さんにとって適切な検査はどのように選べばよいですか	福村直毅	43
Q10	患者さんの栄養状態はどのように把握すればよいでしょうか	若林秀隆	46

2. 治療

Q1	脳疾患の急性期において、絶食の状態から どのように経口摂取をはじめるのがよいでしょうか	小山珠美	52
Q2	神経筋疾患の進行によって嚥下機能が悪化してきた場合は、 どのように援助するのがよいでしょうか	寺尾聡子	56
Q3	長期にわたり気管挿管されていた患者さんへのアプローチは どのように行うのがよいでしょうか	柿沼香里	60

Q4	誤嚥性肺炎で絶食だった患者さんの摂食はどのように始めるのがよいでしょうか	鈴木友子	64
Q5	経鼻胃管が挿入されている患者さんは経口摂取をしてよいのでしょうか	泉澤孝枝	68
Q6	脳卒中でミキサー食が続いている患者さんが、 次の段階の調整食を摂取できるようになるためには どのような援助を行うのがよいでしょうか	宇佐美康子	72
Q7	食事中ときどきむせる患者さんがいます。 どのように対応するのがいいのでしょうか	宇佐美康子	78
Q8	手術により経口摂取を可能にすることができますか	兵頭政光	82

3. リハビリ・ケア

Q1	摂食機能療法はどのように行いますか	大熊るり	86
Q2	リハビリを行う際にまず考えるべきことは	大野 綾	90
Q3	リハビリ訓練にはどのような種類がありますか	三鬼達人	95
Q4	基礎訓練の適応と方法を教えてください	三鬼達人	100
Q5	患者さんに合わせた口腔ケアの方法と注意点を教えてください	鈴木千佳代	108
Q6	歯科医へのコンサルテーションはどのような場合に行いますか	鈴木千佳代	113
Q7	直接訓練の進め方を教えてください	三鬼達人	117
Q8	誤嚥しにくい姿勢について教えてください	三鬼達人	123
Q9	嚥下反射が起こりにくい場合はどうすればいいですか	森脇元希	128
Q10	患者さんが自己摂取しやすい環境調整のポイントを教えてください	佐野亜花里	132
Q11	在宅療養に向けた家族への指導で、注意していることはありますか	佐野亜花里	137

第2章 実践力が身につく！ 症例編

1. 疾患別

1)	脳血管障害—球麻痺	今田智美	144
2)	偽性球麻痺	中野みさと	151
3)	パーキンソン病	白井晴美	156
4)	筋萎縮性側索硬化症（ALS）	寺尾聡子	163
5)	脊髄小脳変性症	白井晴美	170
6)	ギラン・バレー症候群	宇佐美康子	178

7) 認知症	鈴木葉子、伊藤史朗	185
8) 高次脳機能障害	鈴木葉子、伊藤史朗	190
9) 口腔がん、咽頭がん	青山真弓	195
10) 舌がん	青山真弓	200
11) 食道がん	鈴木恭子	206
12) 放射線治療の後遺症	鈴木恭子	211

2. 生活環境別

1) 重症集中治療室	柿沼香里、杉山理恵	216
2) 回復期リハビリテーション	木本ちはる	222
3) 重症心身障害児施設	吉野綾子	228
4) 介護保険指定施設	田中靖代	233
5) 在宅療養・外来通院	藤森まり子、藤島一郎	238

第3章 嚥下調整食の基本とコツ

1) 嚥下調整食の特徴	栢下 淳	246
2) 嚥下調整食の種類と適応	栢下 淳	252
3) とろみ調整食品とゲル化剤の使い方	栢下 淳	255
4) 介護者の負担を減らす調理方法の工夫	大塚純子	259
5) 嚥下調整食のレシピと市販品の利用方法	大塚純子	263

第4章 摂食・嚥下障害の基礎知識

1. 摂食・嚥下のメカニズム

1) 「口から食べる」とはどういうことか	谷口 洋	270
2) 解剖・生理の基礎知識	谷口 洋	274
3) 小児の特徴	弘中祥司	278
4) 高齢者の特徴（加齢による解剖学的変化・生理学的変化）	谷口 洋	284

2. 定義・病態

1) 摂食・嚥下障害とは	白坂誉子	288
2) 摂食・嚥下障害の原因	谷口 洋	290

3) 摂食・嚥下障害の病態	白坂誉子	293
4) 誤嚥と窒息（嚥下前の誤嚥、嚥下中の誤嚥、嚥下後の誤嚥）	重松 孝	300
5) 摂食・嚥下障害によって起こる合併症	杉山育子	306

3. 摂食・嚥下障害に影響を与える医療

1) 気管切開	金沢英哲	311
2) 人工呼吸器装着	神津 玲	317
3) 経管栄養	田中直美	320
4) 絶食	若林秀隆	325
5) 点滴・酸素吸入	片桐伯真	328
6) 摂食・嚥下障害を引き起こす薬剤	中村智之	332
7) 吸引	大石佐奈美	335

索引	338
----	-----

章扉写真提供：藤島一郎

知って役立つ!

Column



● 摂食・嚥下障害看護認定看護師に期待すること	鎌倉やよい	51
● LIP：Liquid Intake Procedure	鯨島菜緒	76
● リハビリテーションにおけるゴール	藤島一郎	94
● 段階的摂食訓練の意義	藤島一郎	122
● 摂食・嚥下リハビリに期待すること	落合芙美子	142
● スタッフとともに作り上げるケアの確立	外塚恵理子	177
● “食べることを支援する” 看護の魅力とちから	戸田浩司	221
● プレゼンテーションの秘訣	金澤典子	287
● 窒息	國枝顕二郎	304
● 「合併症」と「併存症」について	杉山育子	310